

## 検査Ⅳ 美術

(解答上の注意) 解答は、すべて解答用紙に記入すること。

- 1 次の文は、高等学校学習指導要領(平成30年告示)美術Ⅰの目標である。(A)～(E)に入る適切な語句を、(A)(B)(E)は漢字2文字、(C)(D)は漢字4文字で答えなさい。

美術の幅広い(A)活動を通して、(B)的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や(C)と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 対象や事象を捉える(B)的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を(D)し、(A)的に表すことができるようにする。
- (2) (B)的なよさや美しさ、表現の意図と(D)、美術の働きなどについて考え、(E)を生成し(A)的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や(C)に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の幅広い(A)活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、(C)に親しみ、心豊かな生活や社会を(A)していく態度を養う。

- 2 次の文は、ギリシャの美術に関する説明である。次の各問いに答えなさい。

ギリシャの美術の歴史は、(A)期、(B)期、(C)期、(D)期に分けて考えることができる。(A)期には、壺などに直線的な文様や抽象化された人物が描かれ、《E》などが作られた。《F》は(B)期の彫刻で、高い正面性と直立性、口もとの微笑みが特徴的である。(C)期の「パルテノン神殿」は、Gの柱と水平な基壇や梁が見事に比例と調和を見せている。また、ギリシャ彫刻の傑作の一つとされる《H》も、この時期の作品である。《ミロのビーナス》や《I》などが作られた(D)期には、神々はより人間に近付いた姿で表され、感情や動勢、官能が大胆に表現された彫刻が生まれた。

- (1) (A)～(D)に入る語句を下の<語群>より選び、記号で答えなさい。

< 語群 >

- |         |         |        |        |
|---------|---------|--------|--------|
| ①アルカイック | ②マニエリスム | ③幾何学様式 | ④ヘレニズム |
| ⑤クラシック  |         |        |        |

- (2) Gには、「円柱の輪郭が、直径が最大となる下端と最小となる上端を結ぶ直線ではなく、緩やかな外向きの膨らみをもつ形状」を示す語句が入る。その語句を答えなさい。

## 検査Ⅳ 美術

- (3) 文中の《 E 》、《 F 》、《 H 》、《 I 》に当てはまる作品を、以下の〈 作品群 〉から記号で答えなさい。

〈 作品群 〉

①

②

③

④

⑤

⑥

## 検査Ⅳ 美術

3 次の文は、明治・大正期の日本美術に関する説明である。また、〈作品群〉の(A)～(J)は、それぞれの作家の作品である。文中の(A)～(J)に当てはまる作家名を〈語群〉より選び、記号で答えなさい。

明治維新後、政府は西洋文明を取り入れ近代化を推し進めた。武家出身の(A)は絵師として狩野派を学んだが、西洋画の写実性に感嘆し、透視図法、明暗法、油絵技法などを研究して迫真的な作品を描いた。明治26年(1893年)、フランスに留学していた(B)が帰国。印象派の影響による明るい画風を伝え、洋画という新しい絵画の流れに発展した。

一方、従来の日本美術がアメリカ人フェノロサや岡倉天心らによって見直された。その岡倉を中心に開校した東京美術学校に学び、日本美術院の結成に関わった(C)は、菱田春草らとともに、没線描写など新しい日本画の開拓に努めた。また、一時衰退していた文人画では、京都の(D)が奔放な筆線と色彩で新風を吹き込んだ。

彫刻では、(E)が伝統的な木彫を近代の彫刻として再興させた。一方、アメリカ、フランス留学でロダンの感化を受けた(F)は生命力豊かな表現で彫刻界に大きな影響を与えた。

明治40年(1907年)には官設展である第1回文展が開かれ、日本画・洋画・彫刻という日本独自の分類が設けられた。初期の文展には、日本画で美人画というジャンルを確立した(G)のように新しい才能が登場した。

文展の在り方に疑問や不満をもつ画家たちが新たな美術団体を結成する動きがあり、大正に入ると、再興日本美術院の小林古徑や(H)、国画創作協会では土田麦僊や村上華岳らが個性の主張と新しい表現を目指して活動を行った。洋画では西洋の動向に敏感に反応し、独自の写実主義に向かった(I)らが若手画家団体を設立。文展から独立し創設された二科会では、フォーヴィズムを日本にもたらした(J)らが活動した。大正期は時代の変革とともに、個性が目覚めた華やかな時代であった。

### 〈語群〉

(ア) 浅井忠	(イ) 上村松園	(ウ) 荻原守衛	(エ) 岸田劉生	(オ) 黒田清輝
(カ) 佐伯祐三	(キ) 新海竹太郎	(ク) 芹沢銈介	(ケ) 高橋由一	(コ) 高村光雲
(サ) 竹内栖鳳	(シ) 辰野金吾	(ス) 富岡鉄斎	(セ) 速水御舟	(ソ) 横山大観

## 検査Ⅳ 美術

&lt; 作品群 &gt;

(A) 鮭

(B) 湖畔

(C) 屈原

(D) 妙義山図・瀨八丁図

(E) 老猿

(F) 坑夫

(G) 序の舞

(H) 炎舞

(I) 麗子

(J) ガス灯と広告

## 検査Ⅳ 美術

4 デザインに関する次の各問いに答えなさい。

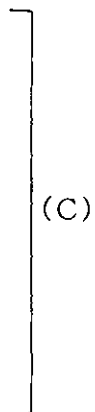
- (1) 次に示す図形の(A)(B)の各部分を示す言葉、(C)の組み合わせを示す言葉、(D)の3つの図形を示す言葉として最も適当なデザイン用語を、〈語群(1)〉より選び、記号で答えなさい。

(A) 図形部分



(B)

※(B)は(A)以外の文字部分を示す



(C)

1964年オリンピック  
東京大会で使用され  
広まったもの



(D)

〈語群(1)〉

- |         |          |         |             |
|---------|----------|---------|-------------|
| ①エンブレム  | ②シンボルマーク | ③ダイヤグラム | ④テキスタイルデザイン |
| ⑤ピクトグラム | ⑥モノグラム   | ⑦ランドマーク | ⑧ロゴタイプ      |

## 検査Ⅳ 美術

(2) 次の文は、文字のデザインに関する説明である。(E)～(H)に入る語句を  
 <語群(2)>より選び、記号で答えなさい。

(E)は、ポスターなどに視覚的効果を考えてデザインした文字のこと。また、その文字を書くことをいう。

(F)は、主にアルファベット文字を、美しい線で表現することをいう。日本では西洋の書道とも訳される。道具は、ペンや筆などが使われる。

(G) 広告は、店頭で掲示したり、商品につけたりする広告のことをいう。その中で手書きのものは、手書き(G)と呼ばれる。

(H)は、もともとは活版による印刷術のことを示していた。現在デザインにおいては、紙面上に展開される活字の書体や字配りなどの構成および表現のことをいう。

<語群(2)>

- |         |         |          |           |
|---------|---------|----------|-----------|
| ①アラベスク  | ②カリカチュア | ③カリグラフィー | ④タイポグラフィー |
| ⑤テンプレート | ⑥レタリング  | ⑦レンダリング  | ⑧POP      |

(3) 次の図と文は、和文と欧文の書体に関する説明である。(I)(J)に入る書体を答えなさい。

明朝体	( I ) 体	ローマン体	( J ) 体
		(モダン・ローマン)	

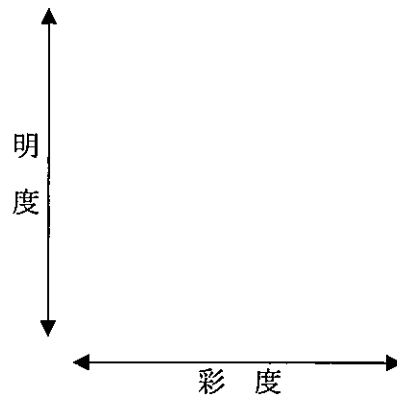
日本で多く用いられる文字には和文と欧文があり、それぞれに多彩な書体が存在する。

和文書体は、起筆や終筆にアクセントを持たせ縦線を太く横線を細く表現する明朝体や、線幅の均一な(I)体などがある。

欧文書体は、和文書体の明朝体に相当するローマン体と、起筆や終筆の抑揚をなくし線の太さが均一な(J)体に大別される。

## 検査Ⅳ 美術

- 5 次の図は、PCCS（日本色研配色体系）トーン分類図である。①～⑤に当てはまるトーン名を〈語群〉より選び、記号で答えなさい。



〈語群〉

(ア) b ブライト	(イ) d ダル	(ウ) dk ダーク
(エ) dkg ダークグレイッシュ	(オ) dp ディープ	(カ) g グレイッシュ
(キ) lt ライト	(ク) ltg ライトグレイッシュ	(ケ) p ペール
(コ) s ストロング	(サ) sf ソフト	(シ) v ビビッド

- 6 次の文は、様々な種類の絵の具に関する説明である。次の各問いに答えなさい。

絵の具とは、色のある微粉末の顔料と、顔料を画面に定着させる接着剤の役割をはたす展色剤とを練り合わせてつくられている。

油絵の具は、亜麻の実から採ったリンシード油などの植物性乾性油で顔料を練ってつくられる。乾性油は蒸発せずそのまま固まるので、乾燥後も光沢が残り、堅牢で耐久性に優れた特性をもつ。

水彩絵の具の展色剤は、水に溶ける《 A 》を用いている。また水彩絵の具には、展色剤の割合を減らし、隠蔽力を高めた（ B ）水彩絵の具（ガッシュ）と、筆運びを滑らかにするためにグリセリンなどを加えた（ C ）水彩絵の具がある。

a アクリル絵の具の展色剤は、アクリル樹脂を乳化したアクリルエマルジョンである。この絵の具は乾燥するとアクリル分子同士が結合し皮膜をつくり、水に溶けなくなる。ガラス、金属、コンクリートなど様々なものに描くことができる。

日本画絵の具の展色剤は、獣皮などを煮沸し、ゼラチンを抽出して凝固させた《 D 》である。日本画では顔料を絵皿にとり、《 D 》と混ぜながら制作するのが一般的である。

## 検査Ⅳ 美術

(1) 《A》、《D》に入る語句を下の〈語群〉より選び、記号で答えなさい。

〈語群〉

① 漆喰	② アラビアゴム	③ 膠	④ アルキド樹脂	⑤ 卵
------	----------	-----	----------	-----

(2) (B)(C)に入る適切な語句を答えなさい。

(3) 下線部aの「アクリル絵の具」で描かれた作品を、以下の〈作品群〉から1つ選び、記号で答えなさい。

〈作品群〉

「クレマティス、ルドベキア、ダリアの花束」  
エミール・ノルデ

「A FLOWER」  
草間 彌生

①

②

③

「カーネーションとクレマティス」  
エドゥアール・マネ

④

「チューリップ」  
小倉 遊亀



## 検査Ⅳ 美術

7 次の文は、長野県内の文化財（国宝）についてまとめたものである。次の各問いに答えなさい。

長野県内には「善光寺本堂」や「大法寺三重塔」などの文化財が国宝に指定されている。このうち、最も新しく国宝に指定されたのが松本市にある「旧開智学校校舎」で、2019年9月に指定された。「旧開智学校校舎」は明治9年に建築され、木造2階建て、寄棟造り、中央部に八角塔屋付の擬洋風建築である。近代の学校建築として、全国で初めて国宝に指定された。

また、2014年8月には、茅野市湖東にある中ッ原遺跡から出土した「土偶」（愛称「A」）が国宝に指定された。面をつけたような姿から仮面土偶と呼ばれ、内部は空洞であることから中空土偶である。この「A」を所蔵している尖石縄文考古館には、この他に茅野市棚畑遺跡から出土した「土偶」（愛称「B」）を所蔵しており、同じく国宝に指定されている。縄文時代中期から本格的に作られた有脚立像土偶で、帽子をかぶったような頭部にハート形の顔面がついている。腕などの表現は略され、雲母が混ぜられた粘土は丁寧に磨き込まれている。1995年6月に縄文時代の文化財としてはじめて国宝に指定された。

(1) 「旧開智学校校舎」は次のどれか、記号で答えなさい。

①

②

③

(2) 「A」「B」に入る語句を下の〈語群〉より選び、記号で答えなさい。

〈語群〉

- |           |           |         |        |
|-----------|-----------|---------|--------|
| ① 仮面のビーナス | ② 縄文のビーナス | ③ 縄文の女神 | ④ 合掌土偶 |
| ⑤ 仮面の女神   |           |         |        |

## 検査Ⅳ 美術

(3) 「A」「B」を以下の〈作品群〉の中から選び、記号で答えなさい。

〈作品群〉

①

②

③

④

⑤

8 解答用紙の枠内に「RUN」をテーマに平面構成しなさい。

〈条件〉

- (1) 枠は縦に使い、鉛筆またはシャープペンシルのみ使用すること。
- (2) 白灰黒などの調子をつける場合、鉛筆またはシャープペンシルで行うこと。
- (3) RUNの文字は入れても入れなくても良い。書体は自由。
- (4) 人やその他の物、図形は入れても良い。